

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

- ・平成29年度実施の全国学力・学習状況調査（以下「全国調査」）では、国語及び算数A、国語及び算数Bともに、岡山県・全国の平均正答率と同等の結果であり、漢字の読み書きや計算だけでなく基礎的な知識・理解を中心に定着が進んでいることが分かりました。
 - ・質問紙調査の結果から、「授業のめあてとまとめが示されていたか」「授業中、自分の考えを発表する機会があったか」「話し合う活動をよく行っていたか」「課題解決に向けて話し合いながら整理して発表する活動に取り組んでいたか」の設問では、どの設問においても、肯定的回答率が高くなっていました。
- これは、前述の質問項目のような授業を教師が心がけ、その授業を通して子どもたちが自ら課題解決を図ってきた結果であると考えます。このように基礎部分が確かになることで、分野によっては発展的な内容にも意欲をもって対応できるようになってきています。

課題と対応

- ・国語・算数ともに、様々な情報の中から必要な情報を収集した上で、条件にあうものを選んで、処理したりまとめて書いたりすることに課題があることが分かりました。教師から整理した情報を一方的に与えるのではなく、目的や意図に合わせて子どもたちが自ら整理・選択できるようになるためのワークシートの工夫や、要約・解釈といった学習活動の機会を増やしていきたいと考えます。
- ・国語では、「書くこと」に課題があることが分かりました。同音異義語の使い分けや手紙の基本的な形式等を、日常の生活に即して指導します。また、相手や目的を明確にし、伝えたいことが適切に伝わるように、事実と意見を明確に区別して書き分けたり、中心文を軸にして文章の構成を考えたりする活動を意識して取り入れます。また、普段の生活や授業の中で、国語辞典や漢字辞典を活用することで語彙を増やし、積極的に漢字や語句を使っていくことができるよう指導します。
- ・算数では、小数の概念理解や基準量・比較量・割合の関係についての理解が不十分であることが分かりました。図や数直線などに表すことで関係を捉えることができるよう工夫して学習を進めていきます。また、問題解決の思考過程を自分の言葉で正確に表現する活動も計画的に取り入れていきます。

【保護者・学区の方へのお願い】

- ・メディアとのつきあい方については、今年度も各学年の実態に合わせた「自主学習とことん週間」の取組を進めています。オフメディアでできた時間を学習に生かすことができるように声かけ等をお願いします。また、今一度、メディアに関する各家庭でのルールをお子さんと一緒に確認して、親子での取組をお願いします。特に、休日の学習や読書の時間の確保は全国・県に比べて課題となっています。とことん週間中だけでなく、毎日の継続した取組につながるようにご協力ください。
- ・約6割の児童が地域への関心をもっているものの、実際に地域社会の活動に参加したり地域の大人と関わったりしているという意識をもつ児童は多くありません。地域の行事や活動に親子で参加することで、地域とのつながりや灘崎のよさを体感できる機会が増えるようにご協力ください。